

- ・ バイオマス購入者およびユーザーとの出会い ・ 24時間以上のコンテンツ ・ 350人以上の参加者と35カ国以上の代表者
- ・ 70%が上級管理職です ・ 20時間以上のネットワーキング

第10回 バイオマス・ペレット会議 ～貿易と発電～

10th Biomass Pellets Trade & Power

2019年5月13日～16日 東京、日本

出展者



業界パートナー



法人スポンサー



プラチナスポンサー



2019年5月13日、月曜日

(別途予約可)

プレカンファレンスワークショップ
(09:30 - 17:00)日本と韓国の輸入バイオマスの持続
可能性及びトレーサビリティの需要

ファシリテーター&スピーカー

RENOVA, Indufor, Renewable Energy
Institute, Biomass Industrial Society Network
(BIN), Korea Forest Biomass
Energy Association, FSC, SBP, Control Union,
Pinnacle Renewable Energy,
Wood & Co. Consulting and etc.

- 09:15 登録
- 09:30 今日日本と韓国で：輸入バイオマスの規制要件 (FITスキームと持続可能性要件)
- 11:00 バイオマスの持続可能性と利用可能性に関する世界的な情勢の設定
- 12:15 ワークショップランチ
- 13:00 持続可能性とトレーサビリティに関するユーザーの見方
- 14:00 バイオマス供給の現実と購買者の期待および要求とのインターフェース
- 15:00 バイオマス認証
- なぜ、何、どうやって？
- 16:30 今後の方法
(オープンフロアディスカッション)

1日目 - 2019年5月14日火曜日

本会議では日英同時通訳をご提供致します。
The main conference will provide a Japanese-English simultaneous interpretation

サミット1日目

- 08:00 受付開始
- 09:00 ウェルカムスピーチ
Vaughan Bassett, President
Wood Pellet Association of Canada
- 09:10 基調講演
- 2030年に向けての日本のバイオマスエネルギー政策
Mr. Daijiro Kikushima
Deputy Director, New & Renewable Energy Division, Agency for Natural Resources & Energy
Ministry of Economy, Trade and Industry (METI)
- アドバイスが必要なトピック
Ms. Mika Makiyama
General Manager, Office of Renewable Energy Business Strategy
Kansai Electric Power Company Inc
- 再生可能エネルギーとIPPの見通しに対するRENOVAの取り組み
Mr. Yosuke Kiminami
President & CEO
Renova Inc
- バイオマスサプライチェーン - 現場実態と今後の予測
Mr. Katsunori Takamitsu
Assistant General Manager, Materials, Supplies & Real Estate Div.
Sumitomo Corporation
- ブリティッシュコロンビア州における持続可能な森林経営
Ms. Diane Nicols, Assistant Deputy Minister & Chief Forester
Province of British Columbia

- 10:30 休憩
- 11:10 補助金制度の下でのバイオマスユニットと調達の管理に関する重要な教訓
Jens Price Wolf
Commercial Director
Drax Power Ltd
- 11:40 ヨーロッパの大規模供給の10年アジア市場に関連する学習
Mr. Thomas Meth, Co-Founder & Executive VP, Sales & Marketing
Enviva LP
- 12:10 生産者視点での日本及び韓国市場における経験
Robert McCurdy
Chief Executive Officer
Pinnacle Renewable Energy
- 12:40 昼食会
- 14:00 午後の部 開会スピーチ
Mr. Matt Boveland
Senior Consultant Bio Solutions
Indufor Asia Pacific Ltd
- 14:05 バイオマス発電プロジェクトおよび資源日本および韓国からの要求要件の更新
Daichi Kamite, General Manager, Head of Energy Trading
eRex Co. Ltd.
- Mr. Ryosuke Kanemitsu,
Fuel & Strategy Manager
(Technical Services)
Equis Bioenergy KK
- Mr. Im Kwang Bin
Samkwang Glass Co., Ltd
- 15:20 産業用熱および小規模発電用のバイオマスソリューション
Mr. Dieter Van Ryckeghem
Project Sales Manager
Vyncke N.V.
- 15:50 休憩
- 16:30 日本のバイオマス運輸・物流 (パネル)
によって調整された:
Mr. Yoshinobu Kusano, Executive Advisor & General Manager, Fuel Procurement, Biomass Energy
Renova Inc
- Mr. Shuji Aoki, Manager of Coal & Biomass Team, Business Group No.1
NYK Bulk & Projects Carrier, Ltd.
- Mr. Takehito Ikeda, Manager, Logistics Equipment Team
Sumitomo Corporation
- Mr. Fred Miyata, General Manager, Business Development - Asia Pacific, Sales and Marketing
Enviva
- 17:30 - 20:00 hrs.
ネットワーキングレセプション
- 鏡割り (酒樽式)
主催
- RENOVA**
- ネットワーキングカクテル&ディナーレセプション
主催
- WOOD PELLET**
ASSOCIATION OF CANADA
- カスタマイズされたスポンサーシップの機会
利用可能なパッケージは、法人スポンサーのエクスクルシブランチオン&カクテルが含まれています。 展覧会/カタログの表示は要求あり次第整理することができます。
連絡先 fiona@cmtp.com.sg
- ここに掲載されているプログラムの詳細は、2019年4月08日時点で確認されています。講演者およびトピックに関する最新情報は<http://www.cmtevents.com/main.aspx?ev=190501>をご覧ください。

2日目 - 2019年5月15日水曜日

本会議では日英同時通訳をご提供致します。
The main conference will provide a Japanese-English simultaneous interpretation

サミット2日目

- 09:00 2日目開会スピーチ
Mr. Yoshinobu Kusano, Executive Advisor & General Manager, Fuel Procurement, Biomass Energy **Renova Inc**
- 09:05 日本のバイオマス発電プロジェクトへの融資
Mr. Aki Mori, CFO **Renova Inc**
Mr. Yasunaga Matsumoto
Managing Executive Officer, GM, Finance Product Solution Dept, Structured Finance Dept. **Sumitomo Mitsui Trust Bank, Limited**
- 09:55 日本における輸入バイオマスの持続可能性とトレーサビリティに対する要求
Prof Yukari Takamura, Professor, Integrated Research System for Sustainability Science **The University of Tokyo**
- 10:25 アジアからの持続可能なバイオマス供給の開発
Mr. Tanabe Keisuke
Chief, Renewable Energy Team **Hanwa Co., Ltd.**
- 10:55 休憩
- 11:35 カナダのアジア顧客向けの木質ペレットサプライチェーン
アジア顧客のための木質ペレットサプライチェーンにおけるCN社の重要な役割
Mr. Warren Lee
Director of Sales Industrial Products **Canadian National Railway**
カナダ西部港湾インフラ整備
Brian Friesen
VP Trade Development **Prince Rupert Port Authority**
- 12:10 高効率木室材ペレット化に向けた世界的傾向
Mr. Olaf Naehrig
Senior Area Manager **Amandus Kahl GmbH & CO. KG**

- 12:35 バイオトラックシステムによるグリーンゴールドの実現
Mr. Mattias Erixon
Senior Sales Manager Biofuels Biotech and Environmental Systems **Valmet AB**
- 13:00 昼食会
主催  **阪和興業株式会社 HANWA CO., LTD.**
- 14:20 午後の部 開会スピーチ
- 14:25 韓国のバイオマス市場 - 国内VS国際供給と将来の動向
Mr. Marco Kim
Global Cooperation Advisor **Korea Forest Biomass Energy Association**
- 14:55 木材チップ市場の見通し
Mr. John Bingham, Director **Hawkins Wright Ltd.**
- 15:20 ペレットマーケットモデリング - 戦略的意思決定の鍵
 - 現依然として大部分が独立したヨーロッパとアジアのペレット市場は、相互依存性のレベルが上がると予想されています。
 - それでも未解決の投資決定と将来の政治的方向性が市場に高いレベルの不確実性をもたらします。その結果としての影響は、堅実な市場インテリジェンスによってサポートされる詳細な市場モデリングの使用を通してのみ分析と理解できます
 - 実際の日本のペレット需要の発展やヨーロッパでの追加の石炭からバイオマスへの転換へのさらなる政治的支援に応じて、木質ペレット市場のダイナミクスはかなりシフトする可能性があります。
 - 高度な市場モデリング機能と相

まって、堅実な市場情報と最適化された木質ペレット調達戦略の開発および実装が可能

Mr. Pedro Campilho
Senior Consultant
Pöyry Management Consulting (UK) Ltd.

15:45 休憩

16:05 ベトナム木材の限界
Mr. Matt Boveland
Senior Consultant Bio Solutions **Indufor Asia Pacific Ltd**

16:30 グローバルプロデューサーパネル

- 現在の供給状況の概要と過去12か月のレビュー
- 関税の変化する日本の食糧とそれが生産者にとって何を意味するかについての分析と議論
- 韓国と日本の両方への供給に関する生産者の洞察
- 地域の新興市場についての議論

司会:
Mr. Brodie Govan, Biomass Broker **Voyage Power Ltd**

パネル:
Mr. Thomas Meth, Co-Founder & Executive VP, Sales & Marketing **Enviva LP**

Mr. Ian Sandeman, Managing Director & Chief Executive Officer **Altus Renewables Limited**

Mr. John Stirling, President **Pacific BioEnergy Corporation**

Mr. Roman Romanovsky
Vice President,
Business Development **Russia Forest Products (RFP) Group**

Mr. Craig Jackson, VP **CellMark Asia Pte Ltd**

17:10 閉会の挨拶

17:15 本会議終了

17:16 カクテルレセプションを閉じる
主催

2019年5月16日、木曜日

(別途予約可)

会議後の工場訪問

山形県酒田臨海工業団地の50MWバイオマス発電所 (国産木材チップと輸入木質ペレットを活用)

サミット酒田パワー(株)バイオマス発電所は、山形県酒田市の中心部より北側に位置する酒田北港に面して立地しております。電力小売事業に力を注いでいる住友商事(株)の電力小売り用電源として設立されたもので、発電用の主燃料としてバイオマスを利用して最大発電能力50,000KWを実現する国内最大のバイオマス発電事業です。発電された電力は全量、新電力であるサミットエナジー(株)を経由して主に東日本の電力需要家(企業・自治体)向けに供給しております。

スケジュール

- 08:50 集合@メインエントランス (東京マリオット品川)
- 09:00 東京マリオット品川発 (バス)
- 11:10 羽田空港発
- 12:10 酒田空港着、昼食
- 12:45 酒田 バイオマス発電所へ移動 (バス)
- 14:00 プレゼンテーション、質疑応答、サイトツアー
- 16:30 酒田空港へ移動
- 17:50 酒田空港発
- 18:55 羽田空港着、東京マリオットホテルへ移動 (バス)
- 20:00 東京マリオットホテル着

注意:

- 登録は、CMTへのパスポートコピー提出(航空券発券)及び料金お支払後に完了します。
- 航空券購入後の返金はできません。
- 40席限定

3つの登録方法

オンライン: www.cmtevents.com
 Eメール: huiyan@cmtsp.com.sg
 Tel: (65) 6346 9113

会議の一人当たりの料金 (USD)
 1の通常料金 1995.00

任意のアクティビティ

プレカンファレンスワークショップ(5月13日) 1095.00
 坂田バイオマス発電所見学 (5月16日) 995.00

登録して4月21日までに一人様100 USDでお支払い

3人以上登録し、4月21日までに一人様
 SAVE USD500にお支払いください

バンドル (Conf-Confワークショップ+ Conf 3285.00
 +サイトの訪問): 5月13日 - 16日

Visa / MasterCardで4月21日までにオンラ
 インで支払う USD 100 (一人あたり) で保存
 他の割引には適用されません。

一目でわかるイベント

5月13日月	5月14日火曜日	5月15日(水)	5月16日木曜日
09:30 ~ 17:00	09:00 ~ 20:00	09:00 ~ 18:00	09:00 ~ 20:00
プレカンファレンス ワークショップ	メイン会議	メイン会議	会議後 現地視察
「木質ペレットなどの バイオマスの持続 可能性とトレーサビ リティの開発」	第10回バイオマスペ レットTrade&Power	第10回バイオマスペ レットTrade&Power	酒田バイオマス 発電所

プロモーションパートナー



20+
出展者&スポンサー

350+
参加者

20+
メディアとパートナー

10回目となる東京での世界バイオマス会議開催を祝して

CMTは、マーケットの方向性を決定付ける上で、東京マリオット品川で第10回バイオマスペレット会議トレード&パワー(2019年5月13日 - 16日)を開催します。4日間のサミットでは、日本のIPP、公益事業者、商社からの強力な支援を得て、世界のバイオマス業界から350人を超える参加者が集まる予定です。

本会議では、日本と韓国のバイオマス電力開発に注目します。バイオマス燃料の持続可能性や認証、需要開発、供給物流、技術と資金調達等について、専門家たちによる講演やパネルディスカッションが予定されております。

イベントハイライト

- 様々なコンテンツ - バイオマスの需要と物流に関する専門家による講演やパネルディスカッションディスカッション。
- 持続可能性における関連問題への取り組み - 日中韓の政策アドバイザー、専門家による大規模バイオマス同時燃焼ユーティリティ、バイオマス供給業者、認証パネルとの会議前の1日の議論に参加する。
- 350以上の参加者と35以上の国が参加 - 国際的なパートナーや業界の主要実務家との出会い
- バイヤーとユーザーとの出会い - 日本と韓国の電力会社、IPP、商社から50%の参加者が集まる、アジアで唯一のバイオマスイベント
- 70%が上級管理職 - 上級管理職および幹部の出席に欠かせない基調講演。重要なインフルエンサーや意思決定者と連絡を取り合い、連絡を取り合う。
- 20時間以上のネットワーキング - CMTコネクトを利用して、軽食の休憩時間、昼食、カクテルレセプション、会議前のワークショップ、会議後のサイト訪問中に、仲間の代表者や講演者と交流しましょう。
- 操業中のバイオマス発電所の経験 - 輸入された木質ペレットを動力源とする全く新しい50MWの酒田バイオマス発電所を訪問
- 4日間ですべてのサプライチェーンに参加する - フルバンドルパックを使用すると、4日間のイベントにアクセスして完全に獲得できます。
- 会議の開始前にネットワーキングを開始する - CMT Connectを利用して、2019年5月13日までに会議の計画を開始します。

第10回バイオマスペレット及び発電2019に参加している企業

Altri, Altus Renewables, Amandus Kahl, Andritz, Airex Energy, バイオマス産業社会ネットワーク (BIN)、CGN Daesan Power, CGN Yulchon Generation, 中部電力, CN, クリーン発電 (CEG)、Control Union, CPM Europe, Daehwa I&C, Drax Power, 環境, eRex, Fednav, 森林再生協議会 (FSC)、Fram再生可能燃料、ガムプランテーショングループ、ジョージアバイオマス、グリーンエネルギー供給、ハットンブラウン出版社、ホーキンスライト、北陸電力、Induforアジア太平洋、岩谷産業、JERA、常磐共同発電、関西電力、韓国森林バイオマスエネルギー協会、丸紅、経済産業省、三菱商事、三井物産、三井OSKライン、MKソーラー、Momentum Capital、NYK Bulk&Projects Carrier, OCI, OPPS, ORIX、大阪ガス、Pacific BioEnergy, PAL、ペガサスコモディティ、Phunsubチャコールウッド、Pinnacle Renewable Energy, Prince Rupert Port Authority, Prodesa, Prospect Co., PT Eshan Agroindo Mulia, PT Parawood, PT SMART, PT Sumber Tan i A g u n g, PT. Agro Pancasakti Bangsa, PT. Bakrie Sumateraプランテーション, RENOVA, RGCC技術サービス、再生可能エネルギー協会 (REI)、ロシア森林製品 (RFP)、山東ロテックス機械、スウェルテル、住友商事、サミットエナジー、持続可能なバイオマスパートナーシップ (SBP)、中国電機パワー、東京大学、徳山工業、Tolko Industries, TSI, Uju Electronics, Ultrabulk Shipholding, バルメット、Voyage Power, Vyncke, Wood&Co., カナダ木材ペレット協会 (WPAC) その他